
平成18年度第2回 音環境運営委員会 議事録(案) 記録：中澤・坂本

- A. 日 時 平成18年6月15日(水) 17時00分～19時00分
B. 場 所 建築会館304室
C. 出席者 平松友孝、坂本慎一、中澤真司、岸永伸二、佐久間哲哉、井上勝夫、岩瀬昭雄、濱田幸雄、藤本一壽、安岡博人、吉村純一(敬称略)
欠席者 古賀貴士、大鶴徹、赤尾伸一、羽染武則、中川 清、河井康人、佐藤哲身、福地智子、吉久光一(敬称略)

D. 提出資料

No.2-0 H18年度第2回音環境運営委員会 議事次第

No.2-1 平成18年度第1回音環境運営委員会議事録(案)(古賀)

No.2-2 2006年度第1回環境工学本委員会議題(抜粋)

No.2-3 日本建築学会の音環境アカデミック・スタンダードに関するアンケート(佐久間)

No.2-4 日本音響学会騒音・振動研究委員会 今後の予定(藤本)

No.2-5 日本音響学会建築音響研究会 今後の予定(吉村)

E. 審議事項

1. 前回議事録確認(資料No.2-1)

- ・出席者の訂正(坂本委員は欠席)
- ・1ページ目下から19行目：計築 → 建築
- ・2ページ目下から8行目：削除
- ・アカスタSWGや学校施設SWGなど、名称は正確に。縮めるにしても小委員会、WG、SWGの位置付けは正しくする。
- ・大会プログラム編成会議は、赤尾委員、中川委員、羽染委員、安岡委員、吉村委員、古賀幹事、坂本幹事、中澤幹事が出席。

2. 本委員会報告(資料No.2-2)

- ・環境工学シンポジウムの在り方について、4ページの議事録に加え、「大会前日に行う」、「委員会を半数ずつに分け2年で行う(6委員会/年)」、「上期、下期の2回で1年で行う」などの意見あり。
- ・2007年度大会は、8/29(水)～31(金)の3日間、福岡大学。
- ・本年度の大会講演会発表題数：環境工学は前年度に比べ71件の減。全体で521件の減。
- ・大会環境工学部門懇親会案内：9/8(金)18:30～、ホテルニューグランド
- ・大会環境部門研究協議会：9/8(金)13:30～17:00 建築環境性能に関する説明責任。音環境運営委員会より平松主査が「音環境分野における説明責任」をテーマに講演(解説)。
- ・大会論文分類：細分類、細々分類の再検討要請あり(9月1日まで)。「室内音響・音環境」について岸永委員が、「騒音・固体音」について平松主査、中澤幹事が、たたき台を作る。
→教科書や設計資料集成の目次を参考にするとよい。
- ・催し物報告：3/13討論会ー学術・技術の現場と音響数値解析ベンチマーク・プラットフォームに28名の、4/28杉並公会堂見学会に165名の参加あり。
- ・委員の解囑・委囑の報告
- ・音環境運営委員会予算執行状況：運営委員会のみ20%、小委員会はなし。

3. 日本建築学会の音環境アカデミック・スタンダードに関するアンケートについて(資料No.2-3)

- ・固体音小委員会のボールに関するアンケートと本アンケートの結果の両方で懇談会等を行うことについて、「焦点がぶれる恐れあり」等の意見があった。音環境アカデミック・スタンダードWGでは、今回はひとまずアンケートのみ実施し、懇談会については結果を見た上で再度検討し、音環境運営委員会に諮るつもりである。
- ・アンケートは、音環境運営委員会傘下小委員会、WGのメンバーを対象に考えている。
- ・恣意的、誘導的な設問は極力避けた。そのため、多少回答しづらい点もある。
- ・自由記述にして生の声を集めようと考えている。
- ・このアンケートはあくまでアカデミック・スタンダードのあり方に関するものであるが、別の興味として「赤本をどう捉えているか」をぜひ聞いてみたい。